

修学旅行クイズを作り，発表しよう

端名 秀雄

1. はじめに

平成12年度，2年生では，「情報の選択・整理に関わる能力」を養うことを主なねらいとした実践をいくつか行った。その中から，10月の後半に行われた修学旅行後に取り組んだ「修学旅行クイズ作り」について述べることにする。

2. 活動の目標

- ・自分たちが体験した修学旅行に関する話題で，活動に興味・関心が持てる。
- ・クイズの論理的な出題方法を考えることができる。
- ・音声表現の効果的な方法を考えることができる。

3. 活動計画と内容（計3時間）

- ・修学旅行クイズを作る。（1時間）
 - ・5つのヒントを，段階を追って作る。
 - ・ヒントに接続詞を効果的に用いる。
- ・できたクイズを発表し，相互に解答する。（1時間）
- ・発表を録画した画像を相互に見る。（1時間）
 - ・クイズの解答をする。
 - ・自分の画像を見て，感想を持つ。

(1) 修学旅行に関するクイズ作り

本校の生徒たちは，例年2年生の秋に修学旅行に出かける。平成12年度も，3泊4日で，関西方面へ行った。そのための事前学習として，訪問先についての下調べをしたり，総合的な学習の一環として，京都での活動計画を立てたりした。また，国語科でも明日香村の散策のために，万葉集の学習を行った。

そのような学習の後に実際に訪問しているわけで，かなり見聞を深めていることになる。しかし，事後指導としては，旅行記を書いたりといった程度で，大きな興味・関心がある事柄であることはわかっていながら，なかなか学習には活用できないでいた。

そこで，今年度は修学旅行を題材としたクイズ作りを通して，情報活用の実践力を育てる活動を計画した。

(2) クイズ作りの具体的な方法

クイズを作るにあたって，次のような条件を出した。

- ① 修学旅行に関わりのある事柄が答えとなること。
- ② 5項目でヒントを作ること。
- ③ ヒントは次第に答えが絞られるように作ること。
- ④ 各項目の最初に接続詞を用いること。

作成にあたって、事前学習でも活用したガイドブックや、旅行後に生徒たちが作成したスクラップブックを活用させた。また、様々なジャンルの問題を作らせ、その中から一つ選んで発表させた。できたクイズのいくつかを掲載する。（※資料1）

(3) クイズの出題と解答

できあがったクイズの中から、1問を選び、教室で発表させた。全員に解答用紙を持たせ、答えを記入させていき、最後に答え合わせをした。

(4) 出題場面の録画

出題している場面を、1人1人デジタルビデオカメラで録画した。

(5) 画像をファイル化

デジタルビデオカメラで録画した出題場面（一人20秒程度）を、コンピュータで活用できるように、動画ファイルにした。本校は男女各20人、4クラスなので、クラスごとに男女別でまとめて計8つのファイルを作成した。それをサーバーに保存した。

(6) コンピュータ画面で問題を見る

コンピュータルームの40台のコンピュータを活用し、学年全員分のクイズを自由に見させた。また、解答用紙を持たせて、自分のクラス以外の20人分を解答させた。また、自分自身の画像を見て、感想を書かせた。（※資料2）

4. 考察

クイズを作るために、修学旅行に関する情報を選択・整理する必要がある。生徒たちは思い出に浸りながら、楽しそうに情報を選択・整理しつつ、問題を作っていた。どの生徒もかなり気合いを入れたためか、難問が続出した。

話題を論理的に展開させるために、各項目の最初に接続詞を用いるという条件を付けたが、結果的には内容に気を取られ、接続詞はあまり意識されなかったように思われる。

コンピュータ画面で問題を見ることのメリットは、自分の好きな画面を何度でも見ることができるし、クイズのヒントが聞き取りにくいところなどでストップさせることもできることである。テレビのモニター画面で見るのではこのようにはできない。

自分自身の音声表現を見ることも気恥ずかしさを感じるものであるが、大勢で一つの画面に映し出されるのを注目して見るのに比べれば、気恥ずかしさは減少すると思われる。自分の表現を客観的に見て、他人と比較することも容易にできる。

時間の関係で、視聴後の表現活動は行えなかったが、文章・音声両面から、論理的な表現方法について少なからず意識できたものと思われる。

今回は1人20秒程度という短いものだったが、今後もう少し長めの主張文などに応用してみたい。

*資料1

修学旅行クイズ例

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ① 京都にあります。 | ① 食べ物です。 |
| ② (そして) 洛中にあります。 | ② (まず) ポリポリです。 |
| ③ (それから) とても広いです。 | ③ (そして) カリカリかもしれません。 |
| ④ (しかも) 世界文化遺産にも指定されています。 | ④ (さらに) 年寄りが好きです。 |
| ⑤ (また) 大政奉還があったところです。 | ⑤ (また) 色とりどりのものがあります。 |
- 答え (二条城) 答え (漬け物)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ① 修学旅行生がたくさんいます。 | ① 飛鳥にあります。 |
| ② (そして) 高くて大きいお寺です。 | ② (まず) 有名な石です。 |
| ③ (また) 土産物店がいっぱいあります。 | ③ (しかし) 制作年代, 目的はなぞのままです。 |
| ④ (ところで) かえでや桜が有名です。 | ④ (そして) この石には二つの顔があります。 |
| ⑤ (しかし) 鹿はいません。 | ⑤ (なお) この石は飛鳥に四体あります。 |
- 答え (清水寺) 答え (猿石)

*資料2

生徒の感想 (自分の画像を見て)

- ・もっとにこやかにやれば良かったと思います。
- ・自分のが一番落ちていかなかった。もう一度撮り直したい。
- ・今まで自分でははっきりしゃべっているつもりだったのに、声が聞こえにくいなと思いました。
- ・行ったことがある人でなかったらわからないクイズになったかもしれません。最後に「でも」を使ったのは良かったです。
- ・下向きではあったが、大きい声で言えて良かった。
- ・もっとイントネーションに気をつければ良かった。
- ・もう少しわかりやすいヒントを出せば良かった。
- ・コンピュータの画面に自分が出るのは楽しかった。
- ・ヒントの文が長すぎました。
- ・ヒントが簡単すぎた。

生徒の感想 (授業について)

- ・他のクラスの人も見られて良かったです。
- ・この企画で、修学旅行を思い出せて良かった。また、他の人がどんな体験をしてどんなクイズを出したかが一目でわかったので良かった。
- ・教室でテレビで見るよりもひとり一人のペースにあわせたものでやりやすかった。
- ・修学旅行の思い出をこんな問題形式で扱うのもいいもんだと思いました。
- ・自分のペースで解答ができたので良かった。
- ・自分のは放送禁止って感じだったけど、とても楽しかった。
- ・同じものを何回でも見られるのが良かった。